

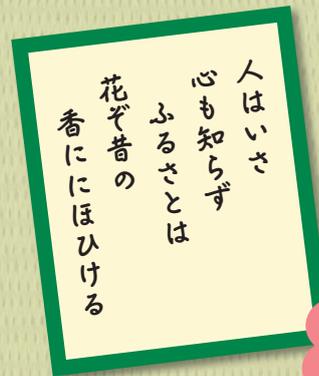
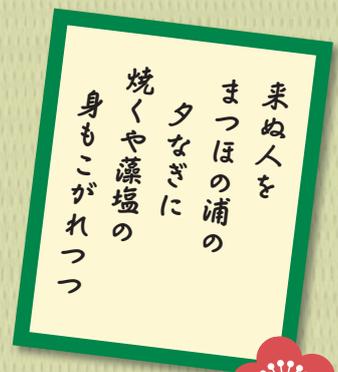
議会だより

Vol.160

令和7年〔2025〕

2月5日発行

うちなだ



安心できる生活を 一日でも早く取り戻すために 12月会議…………… 2 - 3

委員会レポート…………… 4 - 5

災害復興対策特別委員会で 丁寧な説明をして
避難所生活を乗り越える 災害関連死を断じて防ぎ切る
行政・議会一丸となって復旧復興！

総務産業建設常任委員会
文教福祉常任委員会
令和6年能登半島地震災害復興対策特別委員会

一般質問 6人が登壇…………… 7

街かどインタビュー 内灘町写真協会…………… 14



取り戻すために



復旧・復興に向けて

被災者見守り対策強化事業 123万円

救急医療情報キット 7万円
緊急通報システムサービス助成金（新規）
116万円

- ・対象世帯
応急仮設住宅・公営住宅入居者のうち
① 65歳以上のみの世帯
② 要配慮世帯
(関連ページ：P4)

被災地域コミュニティ施設等再建 支援補助金（新規） 1200万円

被災地域のコミュニティ施設等（神社等）
の再建を支援する（関連ページ：P4）。

損壊家屋等解体撤去業務委託料 増額 8000万円 総額 7億3000万円

公費解体申請期間延長
令和6年11月末まで→令和7年3月末まで

北部保育所 被災施設等解体撤去工事 880万円 ピアノ・ボイラー等の移動費用 20万円

民間賃貸住宅入居 助成金（新規） 200万円

応急的な住まい等で生活していた被災者が、
県内の賃貸住宅に入居する場合に必要な
費用を助成する。一律20万円

道路橋りょう施設 災害復旧費負担金 1046万円

金沢市が内灘町との管理協定に基づき、機
具橋の復旧調査をするにあたっての町負担額。
負担割合：金沢市50%、内灘町50%

転居費用助成金（新規） 1000万円

応急的な住まい等で生活していた被災者が、
県内の住まいに住み替える場合の転居に
要する費用を助成する。一律10万円
※上記2つの助成金は令和6年能登半島地震によ
る被災で生じた契約、転居に対して適用可能。

令和6年12月会議は12月3日から12日までの10日間開催され、令和6年度補正予算7件のほか、条例の改正4件、人事案件など計14議案を審議し、全て原案の通り承認、可決、同意、適任とした。

内灘町災害復興計画（基本計画）の 策定について

- 計画期間・・・令和6年度～14年度（9年間）
- 基本理念・・・ともに創ろう、災害に強く住みよい内灘
- 基本方針（3本の柱）
 - 方針1 住まい・暮らしの再建
 - 方針2 液状化を踏まえた災害に強いまちづくり
 - 方針3 地域産業の再生

条例の改正（主なもの）

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

期末手当の年間支給月数
3・40月→3・45月

常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

期末手当の年間支給月数
3・40月→3・45月

補正予算
注目事業を
ピックアップ

安心できる生活を 一日でも早く

くらしの支援

ひとり親家庭等医療費助成金
増額 190万円
総額 1990万円

出産祝金
増額 70万円
総額 370万円



第3子以降の出産に対するお祝い金

2024年11月11日(月)
学校給食賄材料費
増額 1500万円
総額 1億5016万円

食材費の高騰により不足する学校給食の賄材料費

マイホーム取得奨励金
増額 300万円
総額 1900万円

その他の主な事業

温浴施設等管理委託料
(展望温泉ほのぼの湯)
増額 2000万円
総額 4340万円

被災者に対する入浴支援(町民無料)による入館料収入減少及び、物価高騰の影響による燃料費・光熱水費増加のため。
指定管理者：一般財団法人 内灘町公共施設管理公社

サイクリングターミナル
管理委託料
増額 1000万円
総額 2522万円

依然として厳しい経営状況であり、適正な管理運営を行うため。
指定管理者：一般財団法人 内灘町公共施設管理公社



人権擁護委員

長丸 信也氏
(67歳)

(再任 大清水)



教育長

桐山 一人氏
(67歳)

(再任 大学)

人事案件

内灘町会計年度任用職員給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
一般職の給与改定に準じ、給料表の改定を行う。

※右記の3条例は人事院勧告に準ずるもの。
4・50月→4・60月
定年前再任用短時間勤務職員
2・35月→2・40月

①若年層に重点を置き、全ての職員を対象に給料月額を引き上げる。
②期末・勤勉手当の年間支給月数
一般職

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

産業 建設 総務 常任 委員会

災害復興対策特別委員会 で丁寧な説明をして

◎恩道正博 ○西尾雄次 南 守雄
中川 達 磯貝幸博 中村 聡

12月委員会では令和6年度一般会計補正予算を含む9議案を審査し、全て可決した。

その中で、災害復興対策特別委員会での議論を経ずに、災害公営住宅建設予定地の測量・調査委託料の予算が計上されていた。これは議会による意思の表示が全く阻害された行為である。今後は、建設候補地も含め、十分な説明や丁寧な議論を行い、議会に諮った上で予算を執行するよう、付帯意見を付けた。

また、11月委員会では道路除雪実施計画書について等の説明があった。

問 被災地域コミュニティ施設等再建支援補助金による神社等への補助は政教分離に抵触しないのか。

答 地域コミュニティに必要不可欠な施設の再建に係る費用であり、県の復興基金を活用して補助される。

問 液化化した地域での住宅再建に向けた情報提供は。

答 ボーリング調査結果などの情報提供や相談体制の充実を図る。



上記補助金申請予定菅原神社(向粟崎)

問 103万円の壁の影響は。

答 町の税収は約4億円減の見込み。

道路除雪実施計画

問 町会・区に歩道除雪を依頼した場合の保険対応は。

答 各町会・区で加入するボランティア保険により対応していただく。

問 住宅密集地での雪置き場の確保は。

答 除雪業者と各町会・区と協議し、雪置き場の確保に努めている。雪解け後に残ったゴミなどは、町で除去し、元の状態に戻す。

福祉 文教 常任 委員会

避難所生活を乗り越える 災害関連死を断じて防ぎ切る

◎清水文雄 ○土屋克之 夷藤 満
北川悦子 川口正己

12月委員会では緊急通報システムサービス助成金など、11月委員会では書かない窓口(申請書作成支援)サービスなどを審査した。

また、12月委員会では北部保育所保護者を対象とした、北部保育所の今後の計画についての説明会実施の報告があった。

問 緊急通報システムサービス助成金の詳細を聞く。

答 県の復興基金交付金を活用し、応急仮設住宅等に入居する高齢者世帯等130世帯に対する、3カ月分の助成金を増額するもの。24時間コールセンターにつながる小型の端末とリビング等に人感センサーを設置し、24時間反応がない場合、警備員がかけつけるシステムがパックとなった、みまもりプラス24というソフトバンクが提供するシステムを想定している。

問 白帆台小学校の外壁復旧工事は、どのような工法なのか。

答 外壁のクラックに樹脂注入という施工方法で修復を行う。



書類が多いときは助かるわ

問 書かない窓口サービス

答 何を書かないのか。
マイナンバーカード等を読み取り、氏名、住所、生年月日等の情報を申請書に印字する。

問 令和6年度住民税非課税世帯向け1世帯3万円給付の予算を聞く。

答 現時点では約3,000世帯、子ども加算250人、計約9,800万円の予算を見込んでいます。

令和6年能登半島地震 災害復興対策特別委員会

◎中川 達 ○中村 聡
南 守雄 清水文雄 夷藤 満 北川悦子 恩道正博
川口正己 磯貝幸博 西尾雄次 土屋克之
オブザーバー 七田満男議長

行政・議会一丸となって復旧復興!

—— 主な報告事項・意見等 ——

11月6日

1. 国直轄液状化対策検討調査の成果報告等について
2. 内灘町災害復興計画について
3. 能登半島地震による町財政への影響額について



仮復旧された県道
(西荒屋)

～委員会での質疑（一部）～

- ・みなし仮設住宅の入居期限を延長できないか。
→住宅・ライフラインの修繕が済んでいない方や解体して住む所がない方もいる。継続して県に延長の要請をしている。
- ・地下水位低下工法の実証実験はどこですか。
→北部と南部において、国と協議をしながら複数箇所を選定して実施したい。
- ・県道松任宇ノ気線の仮工事について。工事の概要を地域の住民にも周知してほしい。
→積雪時に機械除雪が出来るよう、路面を水平にする仮工事を行っている。北部地区に続き、南部地区も行う予定。雪が降るまでに完了するよう、県に要請する。

11月22日

1. 内灘町災害復興計画について
2. 賃貸型応急住宅（みなし仮設）における入居期間の取り扱いについて

12月10日

1. 内灘町災害公営住宅建設について

～委員会での質疑（一部）～

- ・災害公営住宅の建設候補地について、11月22日の復興対策特別委員会に示されないまま、11月27日以降の住民説明会で示された経緯を聞く。
→8月のアンケート調査結果を踏まえ、南部地区・北部地区それぞれに整備する必要があると判断した。早期の整備に向け、南部地区は鶴ヶ丘5丁目の町有地を確保できるが、北部地区には適当な町有地がなかったため、権現森公園内の県有地の活用について県へ打診したところ、協議を進めていくことを了承されたのが27日の地区説明会の直前であった。被災者の不安を一刻も早く解消するために、地区説明会で災害公営住宅の整備予定を説明した。22日の委員会で説明がなかったことをお詫びする。
- ・白帆台北部隣接地での宅地造成の話はどうなったのか。県にも要望しているのではないかと。若い人達の意見を聞き、希望が持てるような白帆台北部の宅地開発が必要ではないか。
→白帆台北部の宅地整備は、時間がかかるが事業を進めていきたい。

内灘町長選挙および内灘町議会議員補欠選挙結果



\\ 新町長に //

いくた はやと 氏
(50歳 宮坂)

町長の任期は令和7年2月11日から
令和11年2月10日の4年間です。



ふくしま せいいち 氏
(61歳 千島台)

内灘町議会議員補欠選挙により当選

任期は令和7年1月20日から令和9年4月30日です。

所属委員会：文教福祉常任委員会

図書館対策特別委員会

令和6年能登半島地震災害復興対策特別委員会

12月会議審議議案と採決状況

議案番号	議案名	議員名	議決結果	中村	土屋	西尾	磯貝	七田	川口	恩道	北川	夷藤	清水	中川	南
				聡	克之	雄次	幸博	満男	正己	正博	悦子	満	文雄	達	守雄
議案第69号	専決処分の承認を求めることについて 〔令和6年度内灘町一般会計補正予算(第5号)〕		承認	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	令和6年度内灘町一般会計補正予算(第6号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	令和6年度内灘町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	令和6年度内灘町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	令和6年度内灘町介護保険特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	令和6年度内灘町水道事業会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	令和6年度内灘町下水道事業会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	内灘町災害復興計画(基本計画)の策定について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	内灘町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	教育長の任命につき同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		適任	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、棄は議場に不在、欠は欠席、除は除斥、-は採決に加わらない

【お詫びと訂正】

令和6年11月5日発行のうちなだ議会だより第159号2、3ページでの表記に誤字がありました。

下記のとおり訂正させていただきますとともにお詫び申し上げます。

・2ページ

財産の取得について
〔災害対応人員搬送車1台〕
契約金額
正：625万円
誤：6259万円

・3ページ

農地等手づくり復旧支援事業費補助金
正：320万円
誤：3200万円



議会を傍聴してみませんか？

本会議はどなたでも簡単な手続きで傍聴することができます。

本会議当日、役場3階の議場入口で、傍聴受付票に住所・氏名・年齢をご記入ください(席には限りがあります)。

定例月の6月・9月・12月・3月は町政に対する一般質問が行われます。

皆さまの傍聴をお待ちしております！

内灘町議会事務局 076-286-6715

一般質問って？

議員が町の一般事務の執行状況や今後の方針、課題などを質問し、政策的提言をすること。

住みやすい町づくりのために、大切な役目を果たしています。



モーさん



質問と答弁の詳細は町ホームページ→内灘町議会→会議録でご覧ください。

町政も問う

一般質問 (12月5日)

6人が登壇

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の問題点・疑問点・課題などを執行機関に問うものです。



会議録



YouTube

しみず ふみお
清水 文雄 8

- ・物流拠点計画について議会への説明の場を設けよ
- ・コンフォモール内灘に期日前投票所を その他2問

いそがい ゆきひろ
磯貝 幸博 9

- ・復興の歩みを町史として保存せよ
- ・行財政改革を急げ その他1問

なかむら さとし
中村 聡 10

- ・北部地区に大型防災倉庫を整備せよ
- ・放水路管理用道路を残し、魅力向上に活用せよ

きたがわ えつこ
北川 悦子 11

- ・全ての人に資格確認書を送付せよ
- ・投票所の拡大を その他1問

つちや かつゆき
土屋 克之 12

- ・被災者の白帆台町営住宅・単身入居を可能にせよ
- ・内灘海岸に砂像の展示を

にしお ゆうじ
西尾 雄次 13

- ・内灘駅周辺整備の今後の計画は
- ・災害公営住宅の具体案を示せ



ぺこ
3歳 ♀
セキセイインコ
大清台

題字 上野雅子さん(西荒屋)



しみず ふみお
清水 文雄

物流拠点計画は議会への説明の場を

都市整備部担当部長 事業者と協議したい

問 コンフォモール内灘Cゾーンの物流拠点計画の概要を聞く。

答 所有権移転予定先の関電不動産開発(株)が建築主、大和ハウス工業(株)が工事施工者。着工予定令和7年5月、完了予定令和8年5月。敷地面積約2万7千平方メートル、建築面積約1万4千平方メートル。2階建ての貸し倉庫を整備予定。



どんな物流拠点になるのかな？

問 今回の物流拠点計画について、管理会社である(株)リアライズをはじめ、関電不動産開発(株)、大和ハウス工業(株)より、議会へ何の説明もない。町として、議会への説明の場を設けてほしい。

答 事業者とどのような形で情報提供できるか協議したい。

コンフォモール内灘に期日前投票所を開設せよ

問 今回の衆議院選挙では全有権者の20.11%に当たる約2,095万人が期日前投票をしている。前回より約37万人の増。内灘町はどうだったか。

答 前回の期日前投票の投票率は、23.67%。今年10月執行の選挙では、25.41%。前回に比べ1.74%上昇している。

問 他自治体では、期日前投票所を増やしている。コンフォモール内灘に期日前投票所を開設し、投票率をアップする考えはないか。

答 二重投票を防止するための投票管理システムと通信ネットワークが必須であり、セキュリティ面でも課題がある。近隣市町の事例も含め、調査研究したい。

その他の質問

問 戸別防災無線受信機は何機設置しているか。

答 公共施設などに計7機設置している。

問 災害情報伝達手段の多様化が求められる。希望世帯に戸別防災無線受信機を無償貸与せよ。

答 防災行政無線の設備更新を計画しており、更新時に戸別受信機についても検討したい。



内灘町でも早くできないかなー。



いそがい 磯貝 ゆきひろ 幸博

復興の歩みを町史として保存せよ

後世に伝えるため記録史つくる 副町長

一般質問



内灘町史 復興編

問 震災からやがて1年になるが、公費解体なども進み、町の風景が日ごとに変化していく。震災の様子を撮った写真や動画は、時間の経過とともに失われていくため、その記録と保存が必要だ。専門家も交えながら、地域おこし協力隊や地元有志の方々と連携し、復興の歩みを町史として、保存する事業に取り組む考えはないか。

答 震災による被害を風化させず、教訓として後世に伝えていかなければならない。町や町民の皆様が撮影された被害状況の写真や動画、被災者の声などを将来に向け、記録史として保存する必要がある。まずは記録の保存を優先し、その保存に向けた取り組みを進める。記録史の作成時期は、今後検討する。

問 物価・資材・エネルギー価格の高騰や人件費の上昇など、行政コストがこれまでの財政改革等の努力を上回る勢いだ。更なる行財政改革への具体的取り組みを示せ。また、能登半島地震の復旧復興事業費で、液化対策には約600億円との試算も示されたが、そのうち町負担額は実質2.5%で15億円だ。莫大な町の負担にどう対処していくのか。

行財政改革を急げ



行政コストの財源は

答 各種施策における優先位の検討や省エネルギー化、デジタル化などによる事務経費の削減を継続的に実施する。また、未利用地の売却や有効活用等で、自主財源の確保に努め、将来負担の抑制を図る。液化化対策費の実質負担率2.5%・15億円は、特別交付税でいただけないか国に求めている。

その他の質問

問 ※ふるさと納税ポータルサイトの数を増やせ。

答 令和7年度に向けて、「さとふる」との契約を検討している。

※ふるさと納税ポータルサイト
インターネットでふるさと納税を行う際に、入り口となるウェブサイトのこと。
町では現在、「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」「JRE MAILふるさと納税」と契約している。



なかむら さとし
中村 さとし

北部地区に大型防災倉庫を整備せよ

町長 復興と併せ検討する



金沢市大桑防災備蓄倉庫（参考）

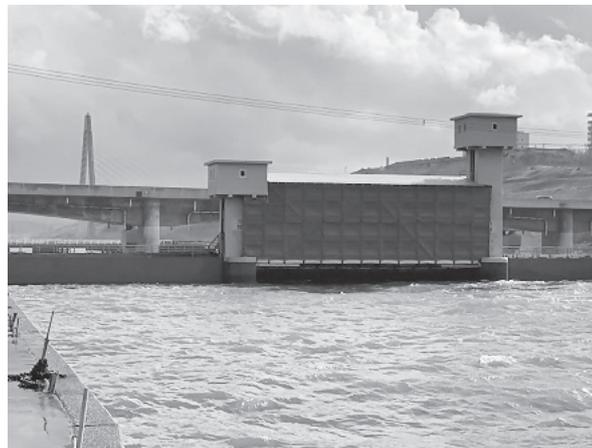
問 自然災害を完璧に防ぐことは、限界がある。被害を最小限に抑え、安心・安全を提供すべき行政は減災に努めることが重要。備蓄倉庫は何力所で備蓄量はどれだけか。

答 防災備蓄倉庫は役場以外に総合公園、消防署各区域防災センターがあり、各小中学校に災害時用資機材格納庫を設けている。

問 食料は1500人の3日分を備蓄している。

答 総合公園内の備蓄倉庫では、大量搬出・輸送に対応できない。トラックが横付け可能な施設が必要ではないか。

問 トラックが横付け可能な大型倉庫の整備は、今後、北部地区の復興と併せて、国の動向を注視しながら検討する。

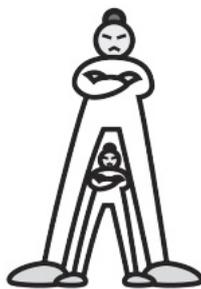


魅力ある開発を

放水路のにぎわい創出

問 国営総合農地防災事業の一環として、新たな防潮水門の整備が進んでいる。町の南部と北部を結ぶ橋梁の一つで金沢方面からの車やマリノレジャーで多くの人が利用している。その管理道路を残すことはできないか。

答 現在の管理用道路を残すことはできないが、新設の防潮水門を活用することを考えている。現在策定中の内灘海岸・放水路回遊空間整備構想の中で、放水路一帯がさらににぎわい創出の場となるよう十分に検討していく。



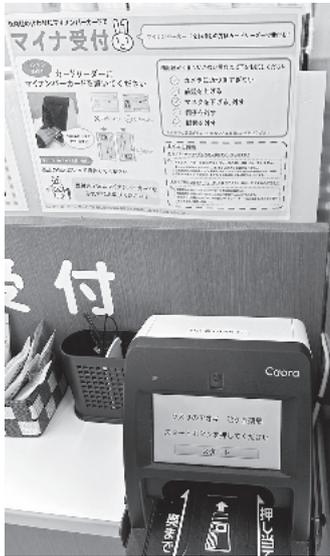
大橋兄弟



きたがわ 北川 えつこ 悦子

すべての方に資格確認書送付を 国保はむずかしい 町民福祉部長

一般質問



全ての人が使いこなせるのかな

問 12月2日に健康保険証の新規発行を終了し、マイナンバーカードに保険証を登録したマイナ保険証への一本化を進める体制に移行した。全てのの人に資格確認書を送付する決断をした自治体も広がっている。町も全ての方に送付できないか。旅行などでなくした場合とても心配だ。安心して医療が受けられるようにすべきだ。

答 県の後期高齢者広域連合では、暫定的に加入者全員へ資格確認書を送付している。国民健康保険は、マイナ保険証に紐付けていない方、マイナンバーカードをお持ちでない方に資格確認書を送付する。詳細は町のホームページ、11月・12月号の広報に掲載しており、周知啓発に取り組んでいく。

問 白帆台は宮坂まで、アカシアは向陽台まで行かないと投票できない。各町会ごとに公民館があることを生かし、投票所を設置できないか。また、選挙管理委員会が立会人と一緒に車で施設や自宅、公民館、スパーなど要望のある場所に行くことで、投票ができる循環型も検討できないか。

投票所の拡大を

答 選挙告示日の翌日から投票日前日までは役場にて、また、防災コミュニケーションセンターでは投票日前日に期日前投票所を開設している。各公共交通機関を利用し、活用してほしい。循環型の投票は、本人確認、システム、人員確保等、様々な課題があり、選挙管理委員会での検討が必要である。



投票所がほしいな 白帆台公民館

その他の質問

問 町道と同様に、鶴ヶ丘4丁目の県営住宅の通路を除雪してほしい。

答 社会福祉協議会登録のボランティアや地元町会と連携し、負担軽減の支援に努めていく。



つちや かつゆき
土屋 克之

被災者の白帆台町営住宅・単身入居を可能にせよ

町長 前向きに検討する



白帆台町営住宅2LDK

問 調べたところ、被災者対応には13世帯用意しており、そのうち2世帯が使用している現状だ。世帯空いている現状だ。

答 現在19世帯が入居され、そのうち被災者の一時使用は2世帯だ。

問 解体予定の鶴ヶ丘4丁目県営住宅・12号棟から16号棟にお住いの世帯数や被災者対応を聞く。

答 この11世帯に新たに入居した被災者は、新築県営住宅に優先入居できるか。

答 一時使用で入居された世帯の取り扱いを県に確認したところ、決定していないとのことだ。

問 白帆台町営住宅の2LDK・16戸を単身入居でも可能にできないか。

答 前向きに検討する。

内灘海岸に砂像の展示を

問 福塚千鳥台町会長は「内灘町の魅力づくりには、内灘海岸からの発信が不可欠。鳥取砂丘に次ぐような規模を誇る内灘砂丘をもっと活用したい。千鳥台町会50周年記念企画で、砂像の展示の実績をつくり、内灘町・石川県県理解を深めたい」と繰り返し地元発展を熱く語っていた。

答 町観光協会とも連携し、砂像の展示などを引き続き検討する。



砂像と夕陽のコラボ



はまなすちゃん



にしお ゆうじ
西尾 雄次

内灘駅周辺整備の今後の計画は

立地適正化計画の推進で国の支援を受けたい 町長

一般質問



拡張待たれる駅前道路

問 内灘駅周辺整備の取組において、川口町長の3期12年の期間の中にとどのような取り組みが行われ、どのような成果を上げてきたのかを問う。

また、内灘駅周辺整備の数ある課題の中で大型車のすれ違いに支障がある道路の解消と向粟崎小学校の通学児童の安全が確保される道路整備に対する町長の考えを問う。

答 平成30年度に策定した基本構想では鉄道車庫の構外移転を前提としていたが、北鉄から移転先適地が無いとのことで基本構想の見直しを行っている。また、内灘駅周辺整備事業で国の支援を受けるため公共施設を含む都市の再整備に向けた立地適正化計画に取り組んでいる。

今後は駅周辺の道路整備を進めたい。

問 町が宮坂地区で開催した「地区説明会」では、住民側から宮坂地区近辺での災害公営住宅の建設を希望している旨の発言が相次いだ。その中で宮坂地区では地域としての一体感を保つため積極的に地区再生の努力を重ね、建設候補地とすべき用地についても話し合いを持っているとの声が上がっていた。町はこれにどのように対処するのか。

災害公営住宅の具体案は

答 北部三地区で災害公営住宅の建設希望があった場合、土地境界や液化化対策工法の決定のほか、道路・上下水道などの都市基盤を共に整備していく必要がある。完成までに長期間かかることを被災者にご理解頂いた上で整備を進める必要がある。また、応急仮設住宅の入居期間も延びることになるので入居期間の延長を県に要望したい。



地元説明会（宮坂公民館）



おししさん

突撃!

街かどインタビュー

個性の輝く町へ

町の団体シリーズ⑳

今回は、「内灘町写真協会」の会長・新田啓二さんほか5名のメンバーの皆さんにインタビューしました。



志賀高原撮影会にて（令和6年11月）
新田会長（後列左端）

◆内灘町写真協会とはどのようなグループですか。

○内灘町文化協会の誕生に先立つ昭和五十四年十一月に内灘町内の写真愛好者十九名で「内灘町写真愛好会」を発足させ、その後、内灘町文化協会の設立に合わせて内灘町写真協会として加入した長い歴史を持つグループです。ですから今年の秋には四十六年目を迎えることとなります。

◆具体的な活動としてはどんなものがありますか。

○発足当初から今日まで「写真愛好者の技術向上と会員相互の親睦を深め町の文化発展と振興に寄与すること」を会の目的に掲げてきました。この四十五年の間、ほぼ毎月一回、例会を持ち作品の勉強会を続けてきました。また、撮影会の開催、会員写真展、各種コンテスト挑戦等々と日々研鑽を重ねております。



会員展会場（令和6年7月）

◆写真協会の皆さんが撮影技術の向上と言う自己研鑽の努力の外に会の目的の一つに掲げている『町の文化発展と振興に寄与すること』との理念を実現する上で、当の町自体が真剣に取り組むべき課題は何だと思えますか。

○内灘町は広大な内灘砂丘や河北潟の水辺、また河北潟越しに遠望する白山・立山・剣岳等の雄大な山容、暮れなずむ日本海への落日など極めて優れた景観に恵まれていますが、砂丘特有の高低差の中でこれらを楽しめる稀有のロケーションを持っているこの町の個性を生かすためにも除草やゴミ処理と言った環境美化があればと願います。



アカシアロマンチック祭
青空写真展（平成30年5月）

◆町や議会に望むことは何かありますか。

○役場六階の町民ギャラリーの早期の復活を切望します。私たち写真協会に限らず、書道協会、絵画協会、工芸協会、華道協会など作品展示を第一義的な発表形態とする文化協会のメンバーは皆同じ思いであると思いますが、町民ギャラリーが、十分な話し合いもないうままに閉鎖されたことは内灘町の文化行政の大きな後退であったと思います。これら協会の取組の中には児童生徒などの作品展示も大きな役割を果たしていたにも関わらず、そつした次代を担う人たちへの配慮を欠いた行政だったと思うからです。現在進行中の農水省の河北潟関連の事業が終了した暁には復活されるよう願います。

◆ありがとうございました。

インタビュー 西尾 雄次

編集後記

新しい年を迎えました。今年の正月ほどドキドキして迎えた年はありません。無事正月を迎えられた喜び、幸せを感じました。

被災当時のことが思い出されます。亡くなられた方々や被災された方々に対して、災害が人災にならないように政治の力で現実にあつた制度に変え、1日も早く安心して暮らせるように力を合わせみんなでも乗り越えていきましょう。

ノルウェーのオスロで開かれたノーベル平和賞授賞式で日本原水爆被害者団体協議会が受賞し、田中熙巳代表委員が受賞演説を行いました。核兵器の保有と使用を前提とする核抑止論ではなく、核兵器は一発たりとも持つてはいけないことろからの願いです。核兵器も戦争もない世界の人間社会を求めて共に頑張りましょうの演説は心に響きました。（委員 北川 悦子）

広報対策特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 中村 聡 |
| 副委員長 | 土屋 克之 |
| 委員 | 北川 悦子 |
| 委員 | 川口 正己 |
| 委員 | 西尾 雄次 |